

佐久市議会議員 議会報告

高柳 ひろゆき 通信

発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6
電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021
メールアドレス shionada5586@ybb.ne.jp



●ご挨拶

早いもので、今年も立春が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。巷では、インフルエンザが大流行し大変なことになっていますが、皆様方におかれましては、お体に十分に気をつけていただきたいと思います。本年は、平成という時代が終わり新しい時代の幕開けとなります。新たな気持ちで、様々な事にチャレンジしてまいる所存です。皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。さて、昨年浅科地域の話題と言えば、五郎兵衛用水が世界かんがい施設遺産に登録された事です。関係者の皆様方におかれましては、大変なご努力をされた事に、敬意を表すると共に衷心よりお祝い申し上げます。今回の通信は、第4回定例会議（11月27日～12月21日の25日間）で議決された主な議案や、不採択とされた2件の陳情に関する私の考えについてご案内申し上げます。

●佐久総合運動公園野球場4月オープン！！

2016年より整備を進めてきた佐久総合運動公園野球場が本年3月に完成し、4月にオープン予定です。

3月下旬には、オープンに先立ち竣工式や完成記念イベントが予定されています。尚、4月上旬には巨人対楽天のプロ野球2軍の公式戦が落成記念として開催されます。詳しくは、佐久市のホームページをご確認ください。

グラウンドは、内野がクレイ舗装、外野が人工芝で、照明設備も設置され、夜間の練習も可能です。また昨年の12月の定例会で、第二駐車場の用地購入費が可決し、約340台の駐車スペースも増える予定です。素晴らしい野球場が完成するので、市民の有効活用はもちろんの事、高校野球県大会の試合等、積極的な誘致を期待します。



(佐久総合運動公園野球場)

●保育園、小学校、中学校のエアコン整備決定！！

昨年の12月定例会で、公立保育園のエアコン整備費に係わる工事経費として、1億5,000万円が可決され、**※債務負担行為**として設定されました。

また国の補正予算に伴う小学校のエアコン整備に係わる経費として5億290万円、中学校のエアコン整備に係わる経費として2億4,850万円が可決され、**※繰越免許費**となりました。本年より3歳以上児室15園、61室（3歳未満児室は設置済み）小学校13校、204室中学校7校、100室の普通教室を対象にエアコンが整備される予定です。

臼田地区4小学校については、統合を控えているため冷風気にて対応するとのことです。県下一斉に整備が始まるため、他地域に遅れることの無いよう早期の設置を希望します。

※債務負担行為とは 支払いが将来的に発生する見込みがあるが、本年度中に支払う予定がない場合の便宜的な予算項目です。

※繰越免許費とは 年度内に支出を終えることができない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰り越して使用できる予算のことです。



(イメージ)

●消費税率10%実施の中止を求める陳情と、消費税の複数税率導入中止を求める陳情についての考え

消費税10%に関しては、2度にわたり延期をしてきましたが、安倍内閣の目指す全世代型社会保障制度の財源確保は待ったなしの状況です。現状実感なき景気拡大といわれていますが、一応戦後最長の好景気の今だからこそ実施しなくてはならないと思います。複数税率については、毎日購入の飲食料品の税率を8%に据え置きすることで、逆進性が緩和できる利点があります。導入に当たっては、多少混乱が予想されますが、政府のきめ細かな対応を期待します。

下記内容の一般質問を行いました

地域観光の振興について

(高柳)

地域の活性化を目指すには、交流人口の創出を図らなくてはなりません、それを実現する手法として観光が果たす役割は非常に大きいと思います。地域を見渡すと、地味ですが観光素材として磨けば光る宝があるような気がします。今年度、集中 PR 実施の臼田地区の現状と、もたらされた効果について伺います。

(茂原経済部長)

市域における観光情報については、これまでは、広く平等な発信に努めてきましたが、今年度から臼田地区、浅科地区、望月地区、岩村田・東地区、野沢・中込地区、の5地区を順に掘り下げ集中的に PR し、誘客による地域の活性化につなげてまいります。臼田地区では、大型ポスターに名所である龍岡城五稜郭を取り上げると共に 佐久の強みである健康長寿と地域の特産品であるブルーベリーを発信すべく、市を中心として、産・学・医の連携による実行委員会を組織し、臼田地区で初めてのピンコロウォークが開催され、首都圏からもバスツアーが企画されるなど好評を博しました。また観光協会では、初めてのイベントの資金調達にクラウドファンディングを活用し、臼田地区が日本での栽培の発祥地であるブルーベリーや地元造り酒屋の日本酒を返礼品とし、PR に努めました。臼田地区を代表する食や歴史文化と、佐久市の強みである健康長寿と併せ県内外に発信したことで、問い合わせも多く寄せられるなど、地域観光集中 PR の効果が表れているものと考えます。



(臼田五稜郭)

(高柳)

キャンペーンの効果を高めるためには、PR の露出度を上げなくてはならないと思います。臼田地区は、五稜郭であいの館を拠点として龍岡城や、川村吾蔵記念館・蕃松院・新海三社神社等の歴史文化施設が充実しています。また、臼田地区ならではの名物料理、若鳥のむしりや満天に輝く星空、臼田ドームなど観光素材には事欠かないと思います。今回臼田スポットに観光 PR を展開されたことは、地域の活性化にとり大変素晴らしい取り組みです。今回の取り組みを検証して、次回の浅科地域集中 PR に活かしていただきたいと思います。そこで、来年度実施予定の浅科地区における PR の展開方法について伺います。

(茂原経済部長)

現在、浅科地区の PR に向けて、地域の魅力の掘り起こしにどのような事業展開を図り、誘客による地域の活性化につなげるかについて、浅科商工会、佐久市観光協会の皆様と意見交換を始めたところです。また11月25日には、浅科地区の観光拠点であり、地域の皆さんの拠り所でもある「道の駅ほっとパーク浅科」において、地域の魅力の発信と食や観光資源を発掘すべく、矢島いきいき会、お母さんの店をはじめとする地域の皆様のご協力のもと、初の取り組みといたしまして、浅科物産品フェア「EAT (イート) あさしな」を開催しました。当日は、天候にも恵まれ、地元農作物の販売や、あさしな亭では、地域の特産品の五郎兵衛米、矢島豆腐、卵、黒毛和牛等を用いた、浅科地区の食にこだわったスペシャル丼を提供するなど、大勢の皆さんに足を運んでいただきました。同イベントにおいて、浅科地区のおすすめスポットや、興味を惹かれるものなどのアンケート調査「浅科良いところ調べ」を実施し、来年度の事業展開に向けたデータ収集を行ったところです。アンケート調査では、浅間山の眺望や関所破りの桜などに高い興味が寄せられるという結果でした。また千曲川の舟つなぎ石や、八幡神社の境内にある高良社や、**※算額**などにスポットを当てた PR をすべきとのご意見もございました。このようなことを踏まえ、浅科地区を代表するコンテンツである五郎兵衛米 矢島の豆腐などの食、国際かんがい排水委員会による、世界かんがい施設遺産に認定された五郎兵衛用水や江戸時代主要街道として今も多くの来訪者が行き交う中山道塩名田宿、八幡宿などの歴史や文化、更には、浅間山や千曲川の景観など(世界かんがい施設遺産:五郎兵衛用水)多様な視点から地域のストーリーに沿ったプロモーションを展開してまいります。



(高柳)

浅科地区にも磨けば光る観光素材が多くありますので、PR 方法を工夫していただき交流人口の創出に努めていただきたいと思います。

※算額とは 江戸時代に和算家が数学の問題や解決方法を書いて神社仏閣に奉納した額の事です。

※皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せ下さい!! 電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021